

平成28年10月31日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日		千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人片柳学園		平成25年3月1日		片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
目的	グラフィックデザインについてあらゆる角度から学び、紙媒体やWeb媒体における情報デザイン技術などの実践的なノウハウを体得し、デザイン業界、エンターテインメントビジネスなど、広く社会のコミュニケーション・サービス産業に貢献しうる人材の育成を目的とします。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	芸術専門課程		グラフィックデザイン科		平成22年文部科学大臣 告示第30号		-
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2535	885	0	2505	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
120 人		113 人		3 人	14 人		17 人
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏 季:8月1日～8月31日 ■冬 季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級 条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 株式会社あたらすニター 株式会社カオルデザイン 株式会社光陽メディア 株式会社ティーツー 株式会社Hampstead 株式会社プラン 株式会社メリーチョコレートカムパニー ■就職率※1: 89.3 % ■卒業者に占める就職者の割合※2: 70.3 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)			主な資格・ 検定等	色彩検定 ビジネス能力検定		
中途退学 の現状	■中途退学者 10 名 ■中退率 8.1 % 平成27年4月1日時点におい 在学者 124 名 (平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点におい 在学者 114 名 (平成28年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 病気療養、進路変更、経済的理由による ■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。						
ホームページ	http://www.neec.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

グラフィックデザイン分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。カリキュラムについては年度ごとに総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
浅野 健	印刷工業会副会長／株式会社金羊社代表取締役会長	H28年4月1日～H29年3月31日	①
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役・アートディレクター	H28年4月1日～H29年3月31日	③
犬飼 健二	有限会社犬飼デザインサイト取締役社長・アートディレクター	H28年4月1日～H29年3月31日	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長		
鶴田 勇一	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長		
山口 卓司	日本工学院八王子専門学校 科長		
井口 亮	日本工学院八王子専門学校 主任		
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回、前期授業および後期授業開始前に開催予定

(開催日時)

第1回 平成28年3月14日 11:00～13:00

第2回 平成28年8月22日 11:00～13:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

グラフィックデザイン業界でデザイナーとして働くためにはデザイン力、技術力を持っているのは当たり前で、生きていくためには「提案力」が必要との委員からの意見があった。よって「グラフィックデザイン実習1」においては市場調査に基づくデザインの提案を実施し、実践的な授業を行う事とした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を受けるにあたり、関連分野の実績や、知識、技術、制作管理能力に基づく指導力を有する講師の派遣協力が得られる企業を選定し、両社で合意したシラバスに基づき授業運営を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学科担当教員と企業派遣講師との間でデザイン技術や知識について意見を交換し、授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に授業を行う。授業の成果物をもとに派遣講師が採点し、学科担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
コンピュータグラフィックス1	Illustrator、Photoshopの知識と基礎技術を習得します。	Katavami+(カタバミプラス)
グラフィックデザイン実習1	書籍や雑誌の編集デザインに関する知識と技術を学び作品を制作します。	有限会社ブレイドデザイン

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

8月25日(木)、株式会社意匠計画(東京都新宿区新宿4-4-1 サテライト新宿ビル4階)を訪問し、「Virtual Reality(VR)システムの活用について」同社の藤井正英氏/大内美日子氏にお話しいただき、VRにおけるグラフィックデザインの役割などについてレクチャーを受け、意見交換をした。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成29年2～3月に開催を予定。教授法や学生指導における実例、解決策等を学び、今後の学生指導に活かす研修会。蒲田キャンパスにてグラフィックデザイン科および関連学科教員を対象に開催予定。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

関連業界の動向や最新技術の研究、教育ツールの認知、就職指導における課題や解決策等をテーマにした研修会。八王子キャンパス、蒲田キャンパスまたは学外にてグラフィックデザイン科および関連学科教員を対象に開催予定。

②指導力の修得・向上のための研修等

平成30年2～3月に開催を予定。教授法や学生指導における実例、解決策等を学び、今後の学生指導に活かす研修会。蒲田キャンパスにてグラフィックデザイン科および関連学科教員を対象に開催予定。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	(2)運営方針(3)事業計画(4)運営組織(5)人事・給与制度(6)意思決定システム(7)情報システム
(3)教育活動	(8)目標の設定(9)教育方法・評価等(10)成績評価・単位認定等(11)資格・免許取得の指導体制(12)教員・教員組織
(4)学修成果	(13)就職率(14)資格・免許の取得率(15)卒業生の社会的評価
(5)学生支援	(16)就職等進路(17)中途退学への対応(18)学生相談(19)学生生活(20)保護者との連携(21)卒業生・社会人
(6)教育環境	(22)施設・設備等(23)学外実習・インターンシップ等(24)防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	(25)学生募集活動(26)入学選考(27)学納金
(8)財務	(28)財務基盤(29)予算・収支計画(30)監査(31)財務情報の公開
(9)法令等の遵守	(32)関連法令、設置基準等の遵守(33)個人情報保護(34)学校評価(35)教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	(36)社会貢献・地域貢献(37)ボランティア活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、作品は卒業制作展に出展するなど、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榊原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9ヵ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 平成28年9月12日

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めにに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、平成27年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程 グラフィックデザイン) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネススキル	社会人に求められるマナーやコミュニケーション能力について理解します。	1・前	30	2	○			○		○		
○			キャリアデザイン1	さまざまな事例を通してデザイナーの仕事を理解します。	1・後	30	2	○			○		○		
○			コンピュータリテラシー1	ビジネスソフトの使い方を学びます。	1・前	15	1			○	○			○	
○			コンピュータリテラシー2	プレゼンテーションソフトの使い方を学びます。	1・後	15	1			○	○			○	
		○	スポーツ実習1	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	1・通	30	1			○		○	○		
○			デザイン概論	デザインの領域とその変遷について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			美術概論	美術史における歴史的な表現について学びます。	1・後	30	2	○			○			○	
○			デザイン各論1	人間工学／コミュニケーション論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論2	インテリアエレメント／プロダクトデザイン理論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論3	印刷概論／デジタルデザイン理論を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	デザイン各論4	インテリア技術／プロダクトデザイン理論を学びます。	1・後	30	2	○			○			○	

		○	デザイン各論 5	書籍の編集デザイン／Webデザイン概論を学 びます。	1・ 後	30	2	○			○			○	
		○	資格対策講座 1	CAD利用技術者、Webデザイナー検定などの 合格をめざす対策講座です。	1・ 通	15	1	○			○			○	
		○	色彩検定講座 1	色彩検定の合格を目指す講座です。	1・ 通	15	1	○			○			○	
○			コンテンツデ ザイン実習 1	静止画を用いたコンテンツ制作スキルを身 につけます。	1・ 後	45	1			○	○			○	
○			コンピュータ グラフィック ス 1	Illustrator、Photoshopの知識と基礎技術 を習得します。	1・ 前	45	1			○	○			○	○
○			コンピュータ グラフィック ス 2	Illustrator、Photoshopを使用し、さまざ まなツールを制作します。	1・ 後	45	1			○	○			○	
○			基礎デザイン 1A	鉛筆による静物デッサンを通じて観察力、 基礎描写力を身に付けます。	1・ 前	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン 2A	平面構成、色彩計画、タイポグラフィーな どグラフィックデザインの基礎を学びま す。	1・ 後	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン 1B	紙、粘土などを使った実習により、立体・ 空間構成力を身に付けます。	1・ 前	90	3			○	○			○	
○			基礎デザイン 2B	立体物のデザインとその表現方法を学びま す。	1・ 後	90	3			○	○			○	
○			デザイン総合 演習 1	デザインの総合的な力を身につけます。	1・ 前	45	1			○	○			○	
○			デザイン総合 演習 2		1・ 前	30	1			○	○			○	

○		デザイン総合演習3	デザインの総合的な力を身につけます。	1・後	45	1			○	○			○	
○		デザイン総合演習4		1・後	30	1			○	○			○	
		○ 海外デザイン研修1	海外デザイン研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。	1・通	30	1	○			○			○	
○		キャリアデザイン2	特別講義などでデザインの仕事を理解すると共に、SPIなど筆記試験対策も実施します。	2・前	30	2	○			○		○		
○		キャリアデザイン3	就職希望企業の研究、ポートフォリオ準備、履歴書・面接対策などを行います。	2・後	30	2	○			○		○		
		○ スポーツ実習2	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	2・通	30	1			○		○		○	
○		コンセプトワーク	問題点を抽出し、企画を立案するプロセスについて学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		メディアリテラシー	メディアの読み取り方を学び、その役割を考えます。	2・前	30	2	○			○			○	
○		作品研究	さまざまな作品を鑑賞し、表現の多様性について学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
○		デザイン関連法規	著作権など、デザインに関連した法律知識を身につけます。	2・後	15	1	○			○			○	
○		コミュニケーションデザイン	地域社会を題材にデザインプランを検討、提案します。	2・前	30	2	○			○			○	
○		アートディレクション	さまざまな事例を通して、ディレクションの役割やコンセプトについて学びます。	2・後	30	2	○			○			○	
		○ 資格対策講座2	CAD利用技術者試験、Webデザイナー検定などの合格を目指す対策講座です。	2・通	15	1	○			○			○	
		○ 色彩検定講座2	色彩検定の合格を目指す対策講座です。	2・通	15	1	○			○			○	
		○ デザイン特論1	デザインカレッジの他学科の講座から選択	2・前	30	2	○			○			○	

		○	デザイン特論 2	して受講します。	2・ 後	30	2	○			○				○	
○			デザイン総合 演習 5	実習課題のまとめを行います。	2・ 前	30	1			○	○				○	
○			デザイン総合 演習 6		2・ 後	30	1			○	○				○	
○			グラフィック デザイン実習 1	書籍や雑誌の編集デザインに関する知識と 技術を学び作品を制作します。	2・ 前	45	1			○	○				○	○
		○	グラフィック デザイン実習 2	実制作を通してグラフィックデザイナーと しての技術力、表現力を磨きます。	2・ 後	90	3			○	○				○	
○			イラストレー ション実習 1	イラストレーション、絵本に関する知識と 技術を学び作品を制作します。	2・ 前	45	1			○	○				○	
		○	イラストレー ション実習 2	実制作を通してイラストレーターとしての 技術力、表現力を磨きます。	2・ 後	90	3			○	○				○	
○			Web デザイン 実習 1	CSSなどを用いたWebサイトの構築技術を学 びます。	2・ 前	45	1			○	○				○	
		○	Web デザイン 実習 2	HTML 5 などを用いて、動的なWebサイトの構 築技術を学びます。	2・ 後	90	3			○	○				○	
○			グラフィック デザイン総合 実習 1	広告表現に関する知識と技術を学び作品を 制作します。	2・ 前	135	4			○	○				○	
○			グラフィック デザイン総合 実習 2	各自のテーマに基づき作品を制作します。	2・ 後	90	3			○	○				○	
○			デザイン実践 演習 1	デザインカレッジ合同プロジェクト、企業 課題、委託研究などに取り組みます。	2・ 後	90	3			○	○				○	
		○	海外デザイン 研修 2	海外デザイン研修を通じて、デザイナーと しての視野を広げます。	2・ 通	30	1	○				○	○			
		○	インターン シップ 1	デザイン業界における短期研修です。	2・ 前	60	2			○		○			○	
		○	インターン シップ 2		2・ 後	60	2			○		○			○	

○		キャリアデザイン4	就職希望企業の研究、ポートフォリオ準備、履歴書・面接対策を行います。	3・前	30	2	○			○		○		
○		キャリアデザイン5	個別の就職活動指導を行います。	3・後	30	2	○			○		○		
		○ スポーツ実習3	冬季期間中のスキーやスノーボードの集中授業をはじめ、さまざまなスポーツの実習を行います。	3・通	30	1			○		○		○	
		○ 資格対策講座3	CAD利用技術者、Webデザイナー検定などの合格をめざす対策講座です。	3・通	15	1	○			○			○	
		○ 色彩検定講座3	色彩検定の合格を目指す対策講座です。	3・通	15	1	○			○			○	
		○ デザイン特論3	デザインカレッジの他学科の講座から選択して受講します。	3・前	30	2	○			○			○	
		○ デザイン特論4	デザインカレッジの他学科の講座から選択して受講します。	3・後	30	2	○			○			○	
○		デザインリサーチ	卒業制作作品のための情報収集をし、企画をまとめます。	3・前	30	2	○			○			○	
○		デザイン実践演習2	デザインカレッジ合同プロジェクト、企業課題、委託研究などに取り組みます。	3・後	180	6			○	○			○	
○		グラフィックデザイン総合実習3	各自のテーマに基づき作品およびポートフォリオを制作します。	3・前	180	6			○	○			○	
		○ 海外デザイン研修3	海外デザイン研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げます。	3・通	30	1	○				○		○	
		○ インターンシップ3	デザイン業界における短期研修を実施します。	3・前	60	2			○		○		○	
		○ インターンシップ4		3・後	60	2			○		○		○	
○		卒業制作	各自のテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作します。	3・後	360	12			○		○		○	
合計			67 科目	3390 単位時間 (136 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目2445時間(94単位)取得および選択科目を90時間(3単位)以上取得し、合計2535時間(97単位)以上取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。